

# 飲水思源

いんすいしげん

町長

松岡市郎

## 「視点」を学ぶ！

写真甲子園、写真大好きな高校生  
の夏の熱い大会が終わった。15周年  
の今年は、全国から331高校と過  
去最高の応募。3回にわたって作品  
発表の場があったが、残念ながら1  
度しか見ることができなかった。  
高校生の作品を見て思うことがあ  
る。それは「視点」である。

若い人々の視点は本当に柔軟であ  
る。器に例えると、四角、三角、丸  
形など、どんなものであるかと、そ  
の形に合わせて入る柔軟な「水の如  
き」ようであると感じる。極めて幅  
広いところから被写体を見て、写真  
として表現しているのだ。

私にとって「写真は被写体の全景  
とか正面を写すもの」という考え方  
が固定化している。しかし高校生の  
作品を見て、写真はすべて正面だけ  
のポーズを写すものではない、と改  
めて感じる。左右前後、上下、遠近  
など、さまざまな視点で被写体を実  
によく撮っている。優勝した沖縄県  
立南部工業高校生の作品は、沖縄を  
イメージする色合いの表現となつて  
いた。個性があり創造性豊かな作品  
に仕上がっている。見る者にとって  
大変良い刺激になり、視点が大切に

あると感じる。

行政マンとしての業務に長く就い  
ていると、先人の足跡、前例になら  
って歩みを進めてきていることが多  
い。いわゆる前例踏襲である。世の  
中は変わつても行政の成すべきこと  
は変えなくてもよい、との視点でも  
あった。しかし社会構造は着実に変  
わり、時代は大きく変化しているの  
である。高校生の作品1枚1枚は、  
前例踏襲から一歩踏み出し、さまざ  
まな視点から行政の果たす「住民福  
祉の向上」を柔軟に考えてみなさい、  
と語つていように感じる。

行政サービスを提供する職員とし  
ての視点、サービスを受ける住民の  
側に立った視点、中間に立った視点  
など、行政サービスのあり方を幅広  
い視点から考える必要がある

パソコンが日常業務の中に定着す  
ると、私たちの考え方、視点までコ  
ンピューター化しないか心配にもな  
る。私たちには住民との出会いがあ  
り、人を思う人間愛がある。人間愛  
のある視点から、「ありがとう」と  
感謝される業務を心がけたいもの  
がある。

## 短歌

人間が降らす雨なら許すまじ天の業には抗す術無く  
乾きたる鬼灯あかくともされて何を見つめむ夜半のしじまに  
幼な児に追われおわれて白き蝶夕陽の中に紛れて去りぬ  
衣替え卒寿の吾れもそれなりに色彩選ぶ外出のあさ  
百幾年慕われ栄えし丸井さん不況には勝てず閉店惜しむ  
暮れなすむ忠別河畔の虎杖が青葉ゆらしてわがふとろに  
幾そ度七転び八起きくり返すゆくりアイスを食べてもみたい  
障がいを持つ身の夫を庇いつつ腰痛むわれの老々介護  
敗戦の苦しみ負いて北の地にしのびつつ生き今を良しとす  
風鈴の短冊替へて音を聴く窓あけ放す暑くはなけれど

松倉和子  
宮坂敬子  
嶋崎ミエ  
矢沢ますえ  
岡澤チズ子  
笹田富士子  
中田治子  
永江栄子  
清水チヨ  
瓜生昭枝

## 俳句

ふれもせで君を想ふや水中花  
雨上り栗咲く香濃くながれ  
思ひ出とともに飛び散る鳳仙花  
紫陽花の雨しずくとも活けにけり  
踊り手の笠より覗く紅のいろ  
虹消へて残像淡く粧しけり  
鉄瓶を磨き直して出穂待ちぬ  
はまなすや里の親潮知らずとも  
恥じらひて爪紅の扇かな  
開拓の越中踊や子らつなぐ  
盆踊り子供ばやしに急かされて  
大輪の後に楚楚と鳳仙花  
おかつばの人差し指や鳳仙花

澤田久美子  
松山蓉子  
三島智  
長谷川きみゑ  
小林露葉  
青野公花  
宮坂紫雲  
杉山ひろのり  
徳光吐苦  
杉山りつ  
山口佐知子  
高瀬潤  
石澤清宏